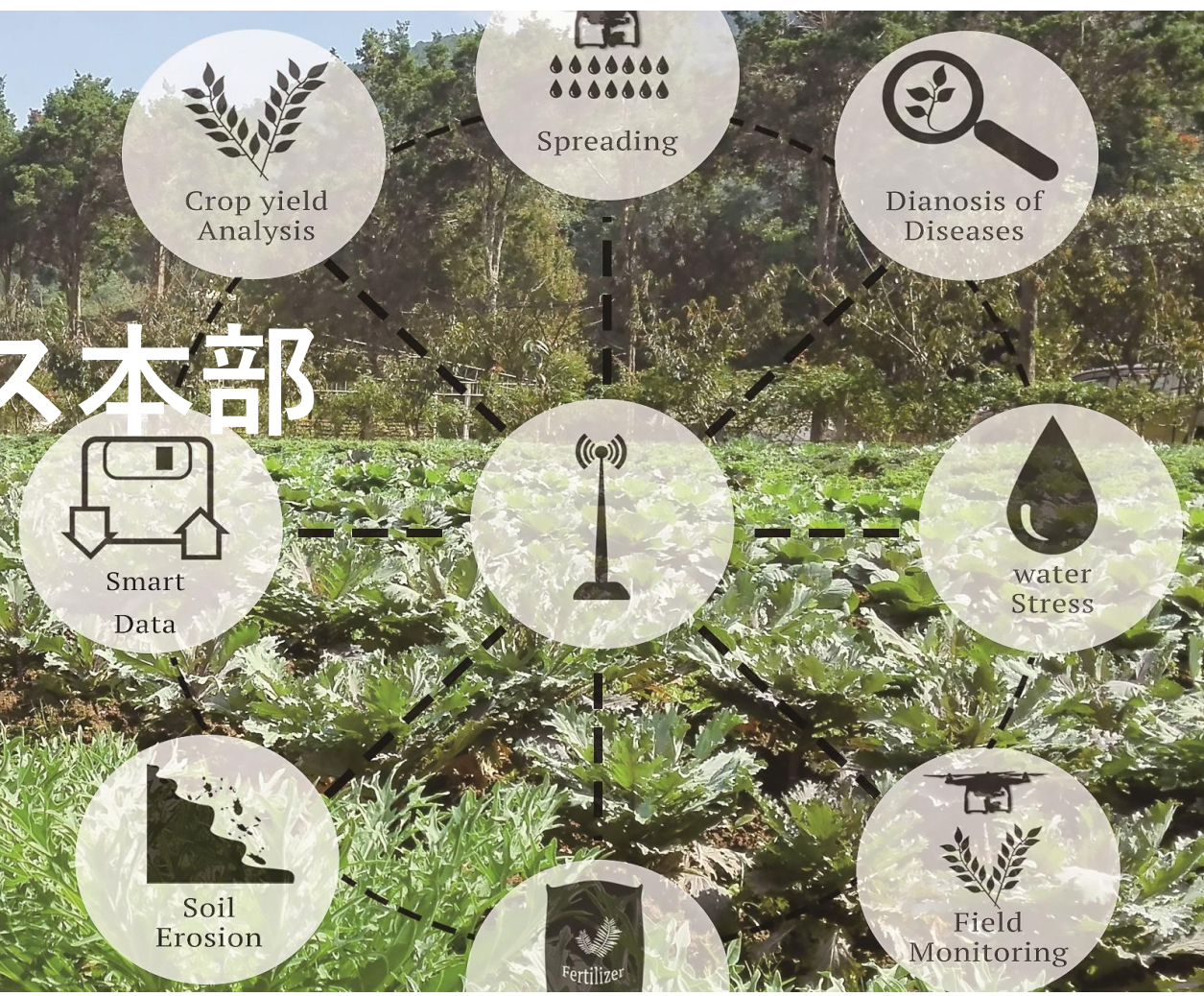




生活産業・ アグリビジネス本部



常務執行役員
生活産業・アグリビジネス本部長
泉谷 幸児
2021年11月29日

自己紹介



常務執行役員
生活産業・アグリビジネス本部長
泉谷 幸児

■ 1960年 山口県長門市で農家の長男として生まれ育つ

■ 略歴

1983年入社、精密化学部配属

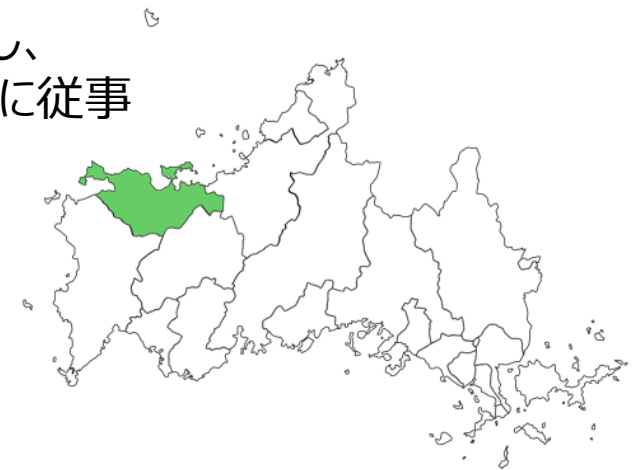
ミラノ、ニューヨーク、ヒューストンに駐在し、
石油化学・機能化学・合成樹脂分野に従事

化学分野から農業にも携わる

■ 座右の銘は「至誠通天、敬天愛人」

■ ビジネスファーマーとして

- ①食の安全・安心
- ②ライフスタイルを提案するビジネスの創出
- ③1次産業がかかえる社会課題解決へ挑戦していきたい



生活産業・アグリビジネス本部 **-本部ミッションと狙い-**




農・林・水産・畜産業を含む生活に密接したビジネス領域において持続可能な成長とデジタル化やマーケットイン視点でのサステナブルなビジネスモデルの構築を進めていく



生活産業・アグリビジネス本部 -本部概要-

当本部 の強み	東南アジアに 強い事業基盤	高度化成肥料 東南アジア3か国で トップクラス	林産資源分野での プレゼンス (バイオマス関連も展開)
--------------------	--------------------------	--	--








 当期純利益 46億円 <small>連結*1</small>	 総資産 2,103億円 <small>連結*1</small>	 人員 4,134人 <small>連結*2</small>	 グループ会社 37社 <small>国内12社、海外25社*2</small>	 海外拠点 12 <small>中国4、アジア4、*2 北米3、欧州 1</small>
--	---	---	---	---

*1 : 2020年度
*2 : 2021年10月1日時点

中計2023における成長戦略

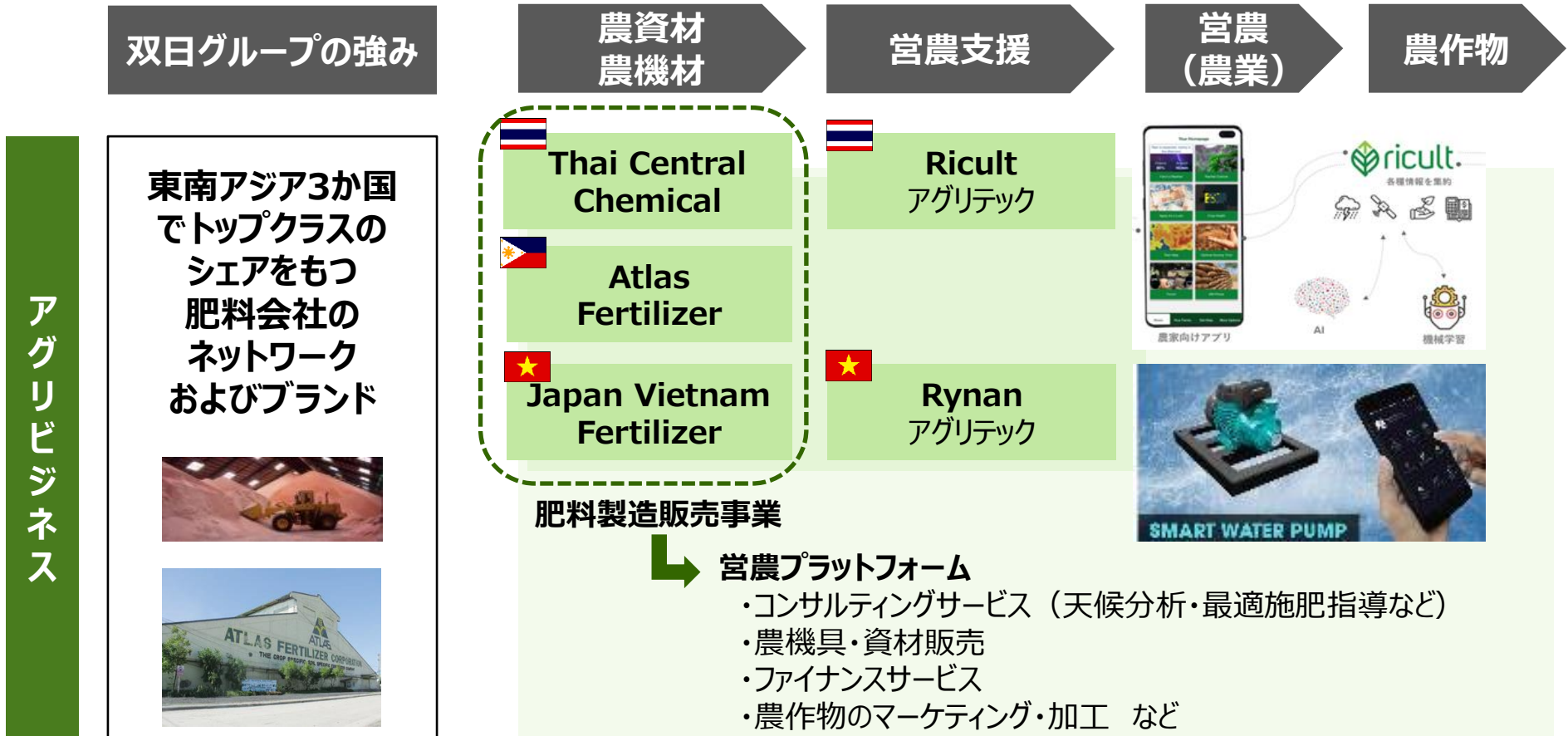
- コアとなる肥料事業では、周辺への幅だしも含めた更なる成長を目指す
- 優良パートナーとの東南アジアの成長を捉えた新たな核となる事業創出を目指す
- 国内地域活性化、一次産業の変革にも長期目線でチャレンジ

	注力領域	目指す事業モデル	注力エリア
成長戦略を担う領域	アグリビジネス	営農プラットフォームモデルへの転換	
	畜産 プロテイン 水産	インテグレーションの構築	 
	林産資源	サステナブルなモデルの実現	
次代を担う挑戦領域	地域創生	地域経済の活性化（一次産業の復興）	

成長戦略を実現するための注力事業

～アグリビジネス事業・営農プラットフォームモデルへの転換～

強固な肥料事業の事業基盤を活かし、ユーザー・ファーマーへの直接サービスを豊富に揃えた
営農プラットフォームの構築を進めていく



成長戦略を実現するための注力事業

～プロテイン事業（畜産/水産）・インテグレーションの構築～

畜産

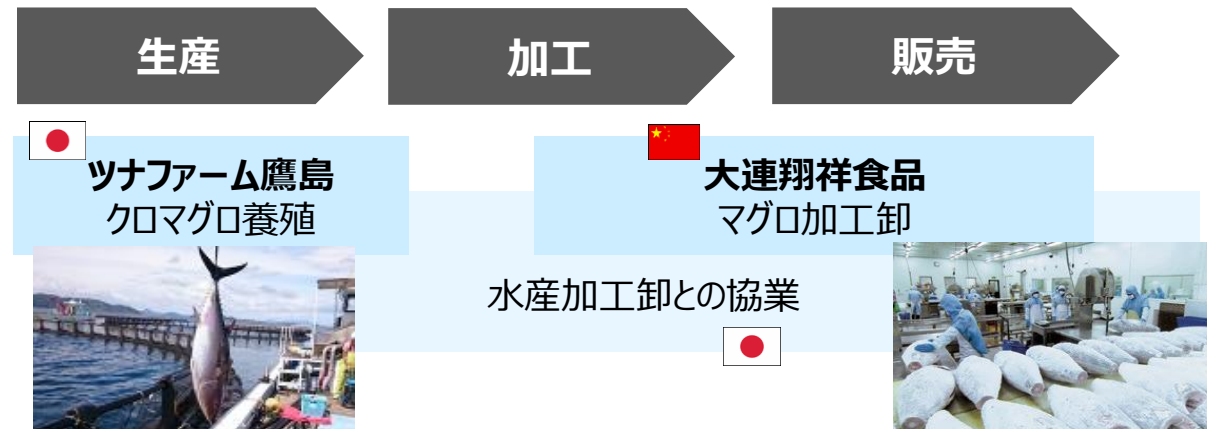
ASEANでの生活水準の向上により食肉ニーズは高まる中、ベトナムでの肥育・加工・販売までのチェーンを構築し、ベトナム国内需要のみならず輸出拠点としてアセアン他市場を狙う

- カーギルとの食肉取引（半世紀）
- ベトナムでの事業基盤
- 日本での畜産ネットワーク



双日グループの強み

- 永年に渡る水産物トレード（多魚種）
- マグロ業界でのプレゼンス

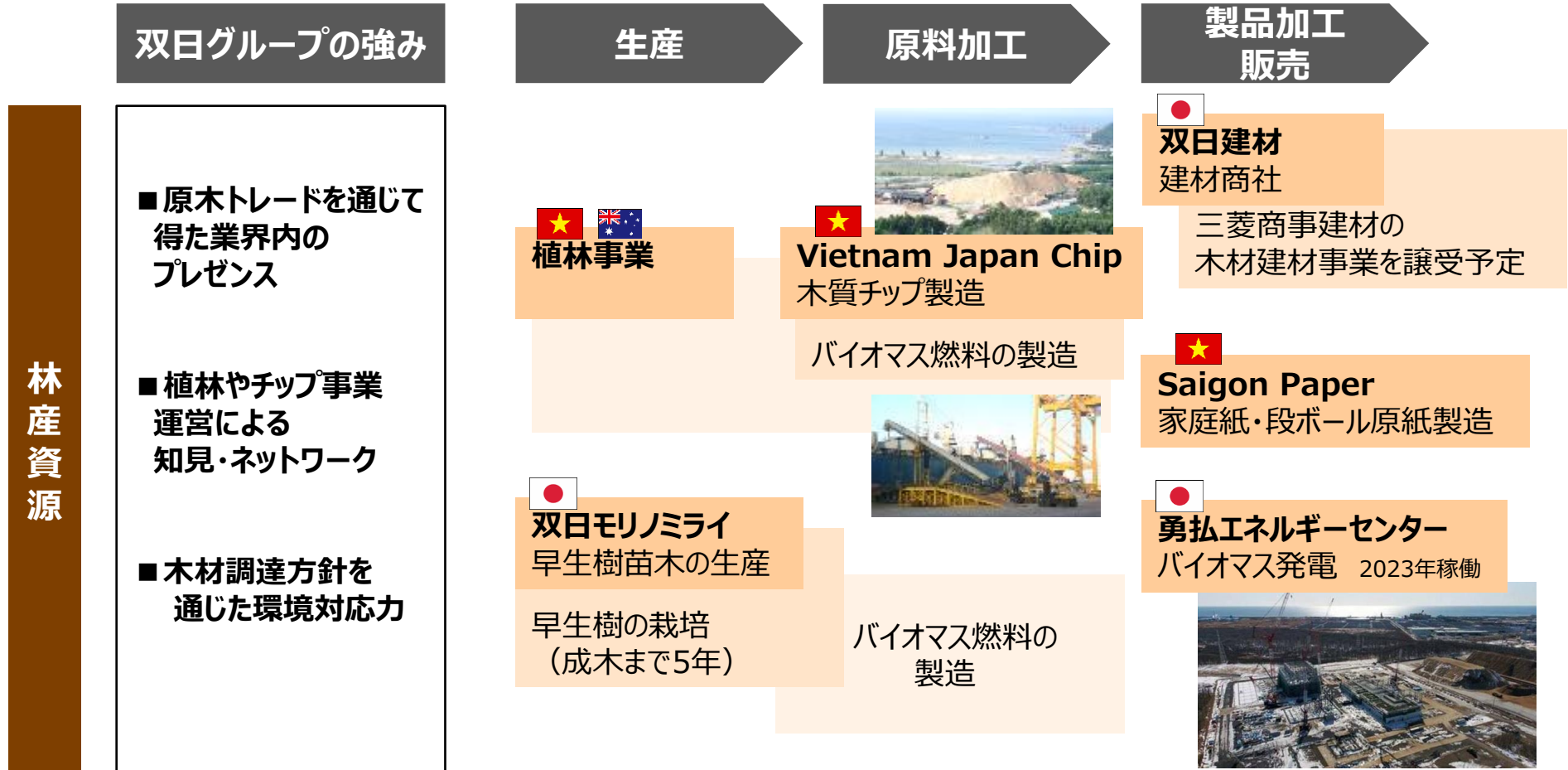


商品開発能力を持つ水産卸を取り込み、養殖・加工・販売までのバリューチェーンを持つことにより、世界市場で拡大する水産プロテインニーズに対応していく

成長戦略を実現するための注力事業

～林産資源事業・サステナブルなモデルの実現～

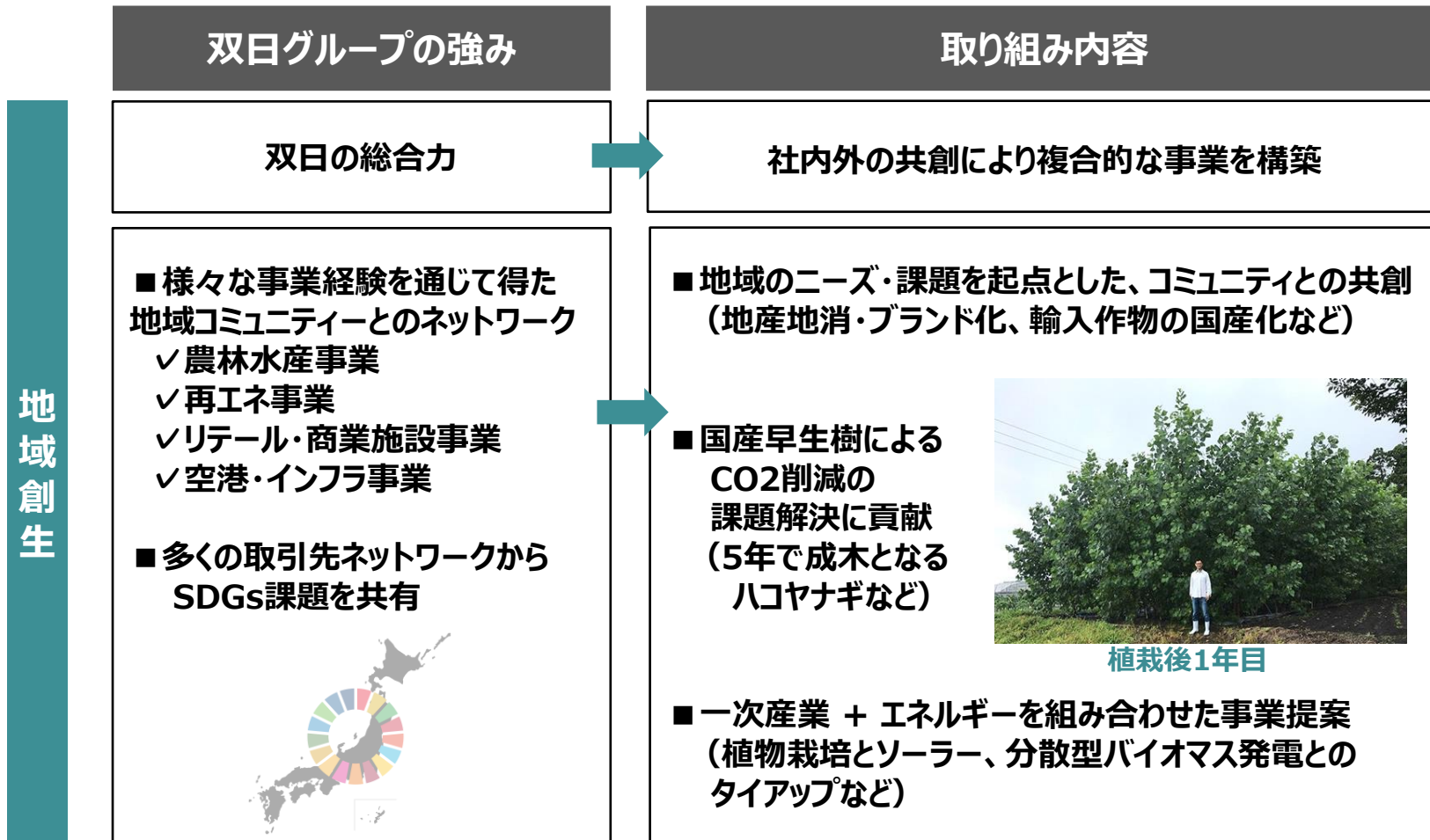
サステナブルな木材調達・植林を行いつつ、木材を原料とする製品やエネルギーの安定供給体制を確立していく



成長戦略を実現するための注力事業

～地域創生事業・地域に根差した事業への挑戦～

「イノベーション」「一次産業 x エネルギー」をキーワードとして、
双日の強みを活かした地域密着の事業構築に挑戦していく

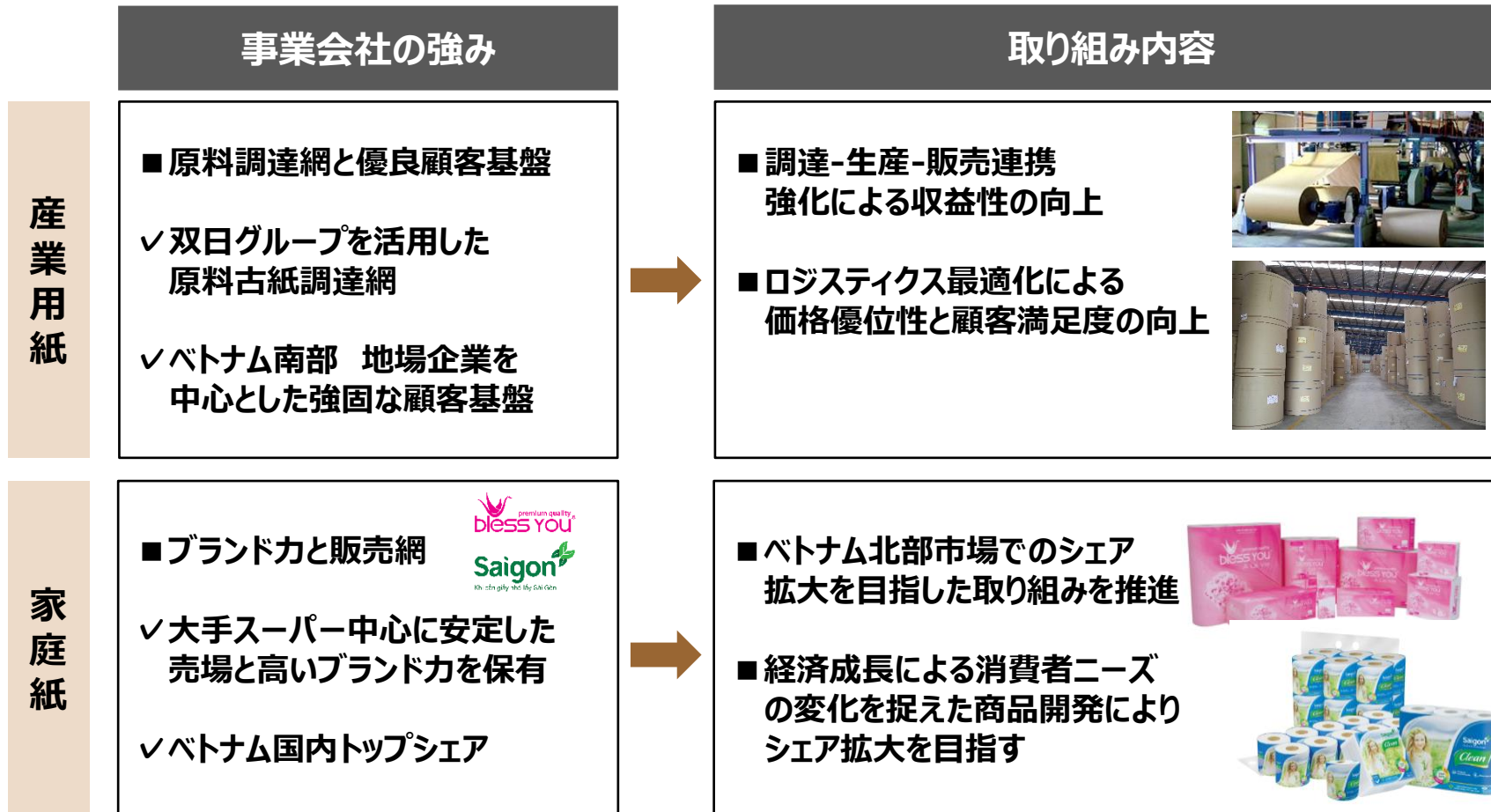


地域創生

中計2020で実行した主な取り組み

～Saigon Paper社のバリューアップ～

2018年6月買収以降、操業効率化によるコスト削減・販売強化等を通じ、
安定的なフル生産体制と収益基盤の構築を進めている



中計2023の主な取り組み

～Vinamilk社との共創による畜産インテグレーション～

ベトナム食品大手Vinamilkと共同事業により、強みを掛け合わせることで、ベトナム国産牛肉という新たな市場創出により需要を取り込むと共に、周辺国展開への足掛かりとしていく

事業会社の強み

ベトナムにおける乳製品市場で圧倒的シェアを誇るVinamilkとの共創

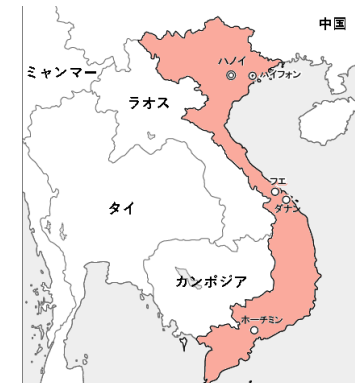
- 双日が提供する日本式の肥育・加工技術や牛肉販売のノウハウ
- Vinamilkが産出する安定的な素牛と販売網、ブランドカ



取り組み内容

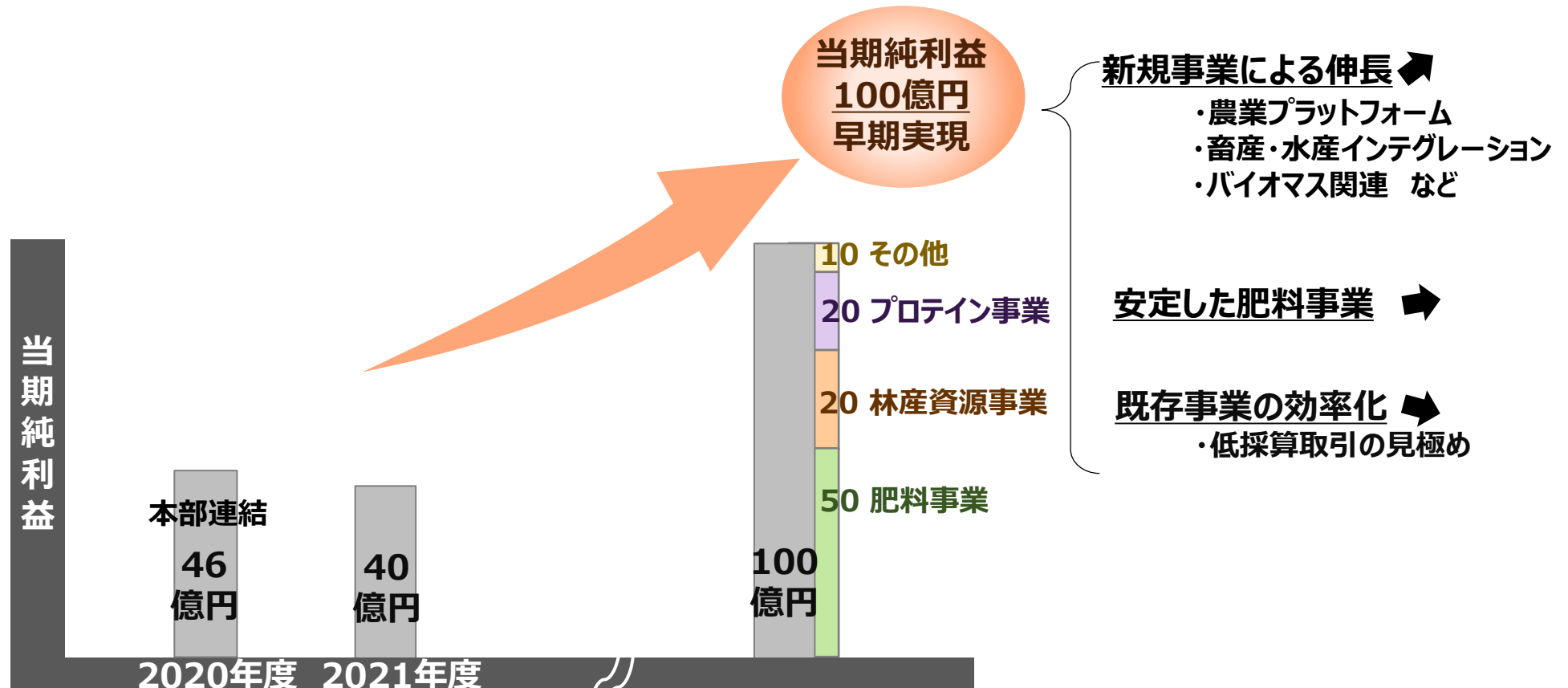
ベトナムの経済成長と所得向上に伴う食文化、消費、購買様式の変化により、高まる牛肉需要の取り込み

- Vinamilkで発生する雄牛や経産牛を有効活用し日本式の技術を用いて、高品質なベトナム国産牛肉を安定生産し新たな市場を創造する
- ベトナム市場を足掛かりとして、東南アジア地域での動物プロテイン事業の創出を目指す



生活産業・アグリビジネス本部 -目指す姿-

注力領域への規模感のある投資により収益および優良資産を積み増すと共に、
既存事業の効率化を進めることで、収益ポートフォリオの変革を実現する





将来情報に関するご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の収束時期や、内外主要市場の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



New way, New value